

令和6年度



家庭学習の充実に向けて

[保護者向けリーフレット]

黒部市立荻生小学校

家庭学習ってなぜ大事なの？

子供たちの学力の向上を図るために、とても重要です。

子供の自ら学ぶ力を伸ばすために、時間を有効に使い家庭学習を充実させましょう。

家庭学習は、どれだけしたらいいの？

めやすは、『10分×学年』です。意欲があればもっとしてもかまいません。一日の中で、一定の時間、毎日継続して取り組むことがポイントです。量や内容は学年や個人に応じて決めるとよいと思います。

荻生小学校では、子供たちが自分で学習を進められる力を身に付け、学力を高められるように自学ノートに取り組んでいます。全学年共通の意識をもって取り組めるよう、目標を5冊に統一しています。また、達成した後も意欲が継続するよう、10冊のダブル達成賞、15冊のトリプル達成賞を設けています。達成した子には、校長先生より大きな「金メダルシール」を授賞しています。



家庭学習の進め方

- ①宿題をする。
- ②「自学ノート」に取り組む。(学年に応じた内容で、ていねいに書く。)
- ③次の日の準備(鉛筆を削る、時間割、持ち物の準備)をする。

子供との約束

家庭学習のための約束事・心がけ

- ①勉強に向かう心構えをしっかりとつこう。(学習の目当てをもとう)
- ②時間を決めて、毎日取り組もう。(「10分×学年」以上)
- ③「ながら勉強」はやめよう。(テレビを見ながら、おやつを食べながら)
- ④机の上をきれいにしてから始めよう。(遊び道具や漫画などを置かない)

保護者の心がけ

子供の「自ら学ぶ力」を伸ばすには、家族の関わりがとても大切です。

- ①子供のがんばりを認めて、意欲を高める。
(ほめる、励ます、丸付けやコメントを入れる など)
- ②親子の触れ合いの場にする。
(一緒に考えたり調べたりする、親子読書 など)
- ③学習しやすい環境づくりをする。
(テレビを消す、学習する時間を一緒に決める など)

一日の生活リズム・生活習慣を大切にしましょう!

生活のリズムを整える

- ◎「早寝」「早起き」「朝ご飯」の生活リズムを身に付けましょう。
- ◎「十分な睡眠をとる」ことが特に大切です。

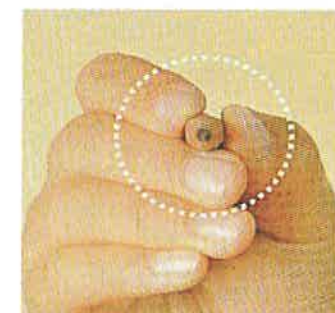
生活をコントロールする力を身に付ける

- ◎家庭での時間の使い方を工夫し、生活を自分でコントロールすることが大切です。
- ◎テレビやゲームの時間を親子で話し合って決めましょう。
- ◎時間や場所を決めて学習しましょう。



正しい箸や鉛筆の持ち方を身に付ける

- ◎家庭でも箸や鉛筆を正しく持つ習慣を付けましょう。





こんな一言を

【1・2年生】※がんばったことをほめてほしいと思っています。

- ・国語の教科書の音読を聞かせて。
- ・一緒に九九を言ってみよう。
- ・できることが増えたね。

【3・4年生】※何にでも興味を示し、好きなことに熱中します。

- ・計算が正確になってきたね。
- ・約束を守ってゲームの時間をがまんできたのはえらいね。
- ・好きな教科は何か。どんなところが好きなの。

【5・6年生】※自主性を尊重した言葉かけが必要です。

- ・自分から進んで、学習を始めることができたね。
- ・計画通りにがんばっているね。
- ・毎日の学習は着実に自分のためになっているね。



子供の生活を確認してみましょう。☑

【子供の様子】

- ☐ 起きる時刻を決めていますか。
- ☐ 寝る時刻を決めていますか。
- ☐ 朝食をしっかり食べていますか。
- ☐ 今、学校でどのような学習をしているかを知っていますか。
- ☐ 子供がどのような学習用具(筆箱・ノート等)を使っているか知っていますか。
- ☐ 読書をする習慣が身に付いていますか。
- ☐ 時間や場所を決めて学習していますか。
- ☐ 宿題をしていますか。



【親の関わり方】

- ☐ 家庭学習について声かけしていますか。
- ☐ 将来の夢や目標について話し合っていますか。
- ☐ テレビやゲームの時間を決めていますか。
- ☐ お子さんのインターネットやスマホの利用の様子について理解していますか。



1・2年生

宿題+自学ノートや読書



3・4年生

宿題+自学ノート+読書



5・6年生

宿題+自学ノート(復習)
+読書



どんなテーマで取り組めばいいのかな？

子供に寄りそって、やる気をおこす

○できるだけ一緒に過ごしましょう。(できないときは後で声かけを)

- 例
- ・理解を深めるために教科書の音読をする。
 - ・確実にできるように計算練習をする。
 - ・かけ算の定着を図るために九九の練習をする。
 - ・想像力を豊かにするために読書をする。
 - ・集中力を付け、文章の構成を理解するために教科書を写す。など

認めて、ほめて、自信をつける

○温かい励ましの言葉で自信を付けましょう。

- 例
- ・定着を図るために、漢字練習を繰り返す。
 - ・速く確実にできるまで計算練習をする。
 - ・言語の力を身に付けるため、国語辞典に慣れ親しみ意味調べをする。
 - ・正答できなかったテストの問題をもう一度やってみる。
 - ・授業のノートを写して復習する。など

見守って 伸ばす

○子供の話をよく聴き、自ら進んで学習に取り組めるように見守りましょう。

- 例
- ・授業の復習をする。(苦手なところをもう一度確認する。)
 - ・速く確実にできるように計算練習をする。
 - ・熟語を使えるようにするために短文づくりをする。
 - ・読解力を身に付けるために読書をする。
 - ・人物調べをして、歴史学習への興味・関心を高める。
 - ・正答できなかったテストの問題をもう一度やってみる。など